

目次

序章	1
第一節 本論文の目的と問題意識.....	1
第二節 本論文の先行研究、研究方法ならびに構成	9
第一章 環境省による環境会計ガイドライン初期設定の問題点	13
第一節 環境省による環境会計が生成する背景	13
第二節 制度会計の枠組みのなかで構築された環境会計	17
第二章 環境省による環境会計ガイドラインの変遷	23
第一節 環境保全コストとその効果で形成される環境会計	24
第二節 環境会計における外部報告機能の一層の明確化	27
第三節 環境会計における機能と要素の強化.....	29
第三章 環境管理会計の登場.....	34
第一節 国連「環境管理会計手続と原則」	34
第二節 経済産業省「環境管理会計手法ワークブック」	37
第四章 環境負荷の測定および評価に向けた環境会計に関する先行研究	43
第一節 環境負荷の測定および評価に向けた環境会計の種類、内容と意義	43
第二節 分析視点、手順と方法	50

第五章 企業実務が環境省による環境会計ガイドラインの生成と変遷に与えた影響	59
第一節 環境保全コストの定義と差額集計	58
第二節 環境保全コストにおける集計の多様化とその効果	64
第三節 物量効果と経済効果との対比.....	70
第四節 多方面への言及.....	73
第五節 最新版 2005 年度ガイドラインの形骸化	74
第六章 環境省型環境会計と異なる環境会計	79
第一節 環境保全コストを中心とする環境会計	79
第二節 環境負荷の測定および評価に向けた環境会計.....	82
第七章 環境負荷の測定および評価に向けた環境会計の実態	84
第一節 環境負荷を貨幣単位で評価する環境会計.....	84
第二節 環境負荷を相対指標で評価する環境会計.....	91
第三節 環境負荷を統合指標で評価する環境会計.....	95
第四節 キヤノンにおける環境会計情報の推移	99
終章	104
主要参考文献.....	106